

一般質問

8月30日、9月2日から5日の5日間にわたり、32名の議員が市政を取り巻く諸問題について、意見・提案を交えながら、市長などの考えをたずねました。質問、答弁の要旨は次のとおりです。
 ※議長と副議長は、町田市議会では一般質問を行わないことになっています。

各議員のタイトル下から一般質問の録画映像にアクセスできます。
 ※動画の再生には別途通信料がかかる場合があります。



と問違理事者の議案配布



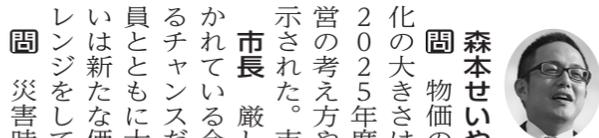
吉田つとむ(無所属)
 市議会議員に配布した定例会の予算書、決算書、条例の議案文書の内容が丸ごと違つたまま、審議に入った怠慢な例は過去にあるか。
総務部長 電子でお送りした文書が差し替わっていたというので大変ご迷惑をおかけしてしまつた次第です。過去にあったかということですが、丸ごと差し替わつて議案が出たというのは過去にありません。



町田を持続可能な街である為に



中川幸太郎(諸派)
 町田駅周辺公共施設再編構想について、市民ニーズをどのように把握し、反映しているか。
政策経営部長 各施設利用者対象としたアンケート調査、市民との意見交換会など、ニーズを把握しながら進めています。(仮称)子ども・子育てサポート等複合施設の検討には、乳幼児の健診、相談の際に保護者へのヒアリング



まちだの未来は災害だの胃がらんは

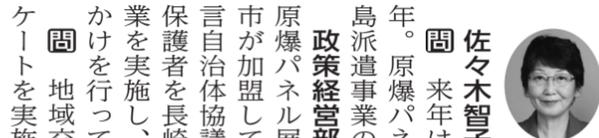


森本せいや(まちだ市民クラブ)
 物価の急騰等、社会変化の大きさは予想を上回る。2025年度に向けた市政運営の考え方や予算編成方針が示された。市長の意気込みは。
市長 厳しい財政状況に置かれて今このときが変わるチャンスだと捉え直し、職員とともに大胆な改革、あるいは新たな価値の創出にチャレンジをしてまいります。
副市長 災害時における緊急道路の通行に関して、協力事業者との連携を深めるべきだ。



町トレ (町田を元気にするトレーニング)の様子

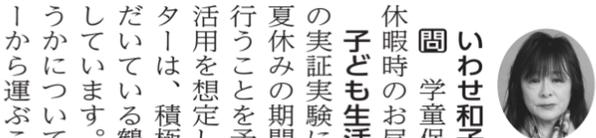
佐藤和彦(まちだ市民クラブ)
 介護予防の取組内容は。いきいき生活部長 市オリジナルのトレーニングである町トレや運動、趣味活動などを行う自主グループの立ち上げ支援、高齢者支援センターが実施するイベントサポートなどを行う介護予防サポートの養成などを行っています。
副市長 介護人材確保への取組内容は。いきいき生活部長 就労相



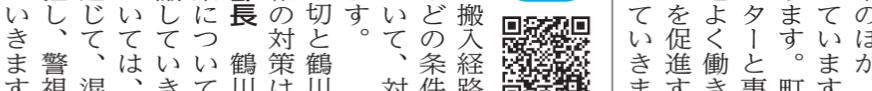
第三セクターの検討を



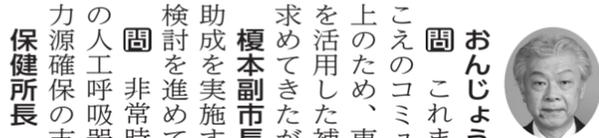
白川哲也(選ばれる町田をつくる会)
 福利厚生サービスさるびあタウンを提供する町田市勤労者福祉サービスセンター利用事業所数の状況は。
経済観光部長 目標値が930事業所に対し、実績は708事業所となっています。
副市長 5カ年での推移は。経済観光部長 19年度845、20年度799、21年度769、22年度739、23年度708事業所となっています。



学童のお昼の提供が実証実験へ



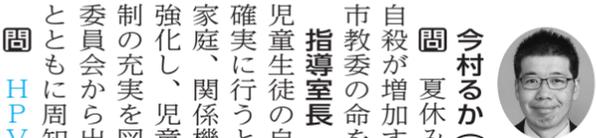
いわせ和子(選ばれる町田をつくる会)
 学童保育クラブの長期休暇時のお昼の提供を。
子ども生活部長 昼食提供の実証実験について、25年の夏休みの期間中に2週間程度行うことを予定しています。
副市長 鶴川2号踏切と鶴川駅西口交通広場混雑の対策は。都市整備担当部長 鶴川2号踏切の安全対策について、小田急電鉄と協議していきま



補聴器・非常時購入電力補助



おんじよう由久(公明党)
 これまで介護予防や聴こえのコミュニケーション向上のため、東京都の補助制度を活用した補聴器購入補助を求めましたが、検討状況は。
福祉部長 購入費の一部助成を実施することについて検討を進めていきます。
副市長 非常時に備え、在宅での人工呼吸器等使用者への電力源確保の支援が必要だが、保健所長 難病患者について医療機関が蓄電池や発電機を貸与し、購入費を全額補助する都の制度があります。



守るのちと健康を



今村るか(まちだ市民クラブ)
 夏休み明けは子どもの自殺が増加する傾向がある。市教委の命を守る決意を問う。
指導室長 学校組織全体で児童生徒の自殺予防の取組を確実にしようと、学校と家庭、関係機関等との連携を強化し、児童生徒への支援体制の充実を図るよう、都教育委員会から出されている通知とともに周知をしています。
副市長 HPVワクチンの無料接種は来年度終了する